

趙起杲の無念：青柯亭刻本の後4巻について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-05-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 笹倉, 一広 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00008536

趙起杲の無念——青柯亭刻本の後4巻について

趙起杲的遺憾——关于青柯亭刻本的后四卷

笹倉 一 広

はじめに

青柯亭とは趙起杲(1718?—1766)の齋号であり、彼が乾隆31年に刻した『聊齋志異』、すなわち青柯亭刻本(以下「青本」と略す)は事実上の最初の刻本である。1974年に鑄雪齋鈔本の影印本が発行されるまで、『聊齋志異』はこの青本を底本とした各種注本でのみ読まれてきたとあってよい。今なお青本を底本とした出版も行われている。起杲の『聊齋志異』出版史上に占める位置は非常に大きい。その青本16巻を紐解けば、判然と前12巻と後4巻が性格を異にしていることに気付く。この理由は起杲自身が「例言」の中で記しているように、最初「雅」なるもの12巻の選本の編集を進め、版刻が終わったあと、残余の篇を捨てるに忍びず合刻したためである。しかし、後4巻は余集が「題詞」で「後四巻は則ち附属の者なり」といつているように、単に趙起杲の手で付け足して刊行されたのであろうか。実は後4巻の中にも何かをしようとした形跡があり、「聊齋癖」趙起杲のもう少し複雑なドラマがよみとれるようだ。いささか些末なことであるが、それを本論では紹介し、あわせて文人と小説の関わりの一例として提示したい。尚、本稿は1991年10月山東省淄博市で開催された第1回国際聊齋学討論会における口頭発表に加筆したものである。

I. 青本はどのように刊刻されたか

まず青本の成立過程を序文などから整理しておく。

- ①乾隆11年(1746) 趙起杲は済南から帰った周季和より『聊齋志異』の部分鈔本2冊を贈られる。趙起杲は全部を見られないことを残念に思う。(「弁言」)
- ②乾隆22年(1757) 趙起杲が北京に赴いた際、周季和鈔本を王閏軒に持ち出される。(「弁言」)

- ③ 閩に赴任中、蒲松齡の故郷山東に赴任した経歴を持つ鄭方坤は必ずや『聊齋志異』の鈔本を持っているに違いないと考え、その息子を訪ねたところ、『聊齋志異』の全鈔本を蔵していた。そこで、正副2鈔本を作った。周季和鈔本とは異同があったらしい。(「弁言」)
- ④ のち3年して、再び北京へゆく。周季和鈔本や吳穎思蔵鈔本と比較し、鄭鈔本が原稿本と確認する。(「弁言」)
- ⑤ 乾隆28年(1763)趙起杲は杭州府同知に任官。趙起杲自身も出版の意志があり、蔵書家で『知不足齋叢書』で有名な友人の鮑廷博にも出版を勧められる。が、躊躇する。(「弁言」「紀事」)
- ⑥ そののち鈔写のための借覧に応じきれなくなったので、ついに刊行を決意する。(「弁言」)
- ⑦ 乾隆30年(1765)巖州知府となる。3月、幕客の余集に『聊齋志異』の審定を命ずる。(「余集序」)
- ⑧ 同11月、余集は序を撰して会試受験のために幕下をたつ。(「余集序」)
- ⑨ 乾隆31年(1766)1月。趙起杲と鮑廷博は呉山で会う。趙起杲は16巻を削って12巻にしているが、実は残りの4巻も鮑廷博に刊行してもらいたいことを話す。(「紀事」)
- ⑩ 同5月。前12巻の刊刻が終了する。趙起杲は弁言と例言を撰したあと、童試の試験場で急死する。(「紀事」)
- ⑪ 趙起杲の没後、趙起杲の弟の依頼を受けて鮑廷博が刊刻を続け、起杲の没後7カ月に16巻全部の刊刻が完成する。(「紀事」)

以上が青本刊刻の経緯である。

II. 手順のあらまし

青本が前12巻と後4巻に分割でき、前12巻はおもに伝奇的な諸篇を、後4巻にはおもに志怪的な諸篇をあつめていることは一読して判る。それは前章で確認した取捨選択の作業があったからである。繰り返すが、起杲の使用した底本は16巻本であったが、そのまま刻したのではなく、まず12巻の選本をつくり、そののち残りの4巻をつけて現在の16巻の青本が構成されているのである。

本論では篇次に特に注目する。篇次とは、一般に巻数の順番を巻次というように、『聊齋志異』約500篇の各篇の順番をいう。

議論が複雑になるので、あらかじめその手順を記しておく。

1. 趙起杲が使用した底本の篇次を再生する。

議論が前後するが、表1を御覧頂きたい。これは青本と鑄雪齋鈔本（以下「鑄本」と略す）の篇次を対応させたものである。鑄本は、公開されている鈔本の中では原稿本（蒲松齡自筆といわれるもの。現存4冊）の篇次を最も忠実に伝えていると思われる鈔本である。次の2点が認められる。

①対応させた鑄本の篇次が小→大へと数字が並ぶ部分がある。

②しかし、その連続は一貫しておらず、前後に断層や逆転が見られる。

例：青本No44とNo45の間の断層、青本No45～55とNo63～76の逆転

このことから、次の事が推測できる。

③編輯作業は全く無秩序に行われたのではなく、趙起杲は底本の篇次を保ちつつ取捨選択作業を行った。

④底本の篇次は鑄本（≡原稿本）の篇次を部分部分では保ちつつも、その部分の順序は異なる。これは巻次の乱れに起因するのではないか。

そのため趙起杲が使用した底本を再生する作業が必要となる。

2. 後4巻の乱れを調査する。

底本の篇次巻次が確定した後、その頭から佳篇を選んでゆけば、青本の前12巻の篇次は底本の篇次と平行になるはずである。また、事実そうになっている。そうならば、その自然の結果として、選に漏れた諸篇も後4巻に底本の篇次に沿って並ぶ筈である。ところがそうはなっていない。

3. 後4巻の乱れの原因を考察する。

2.を確認した上で、後4巻の篇次の乱れの原因を考えてゆく。

III. 底本の篇次の再生

上に概述したように、青本の編輯で使用した底本の篇次は、蒲松齡の原稿の篇次とは異なっている。より正確に言えば、後述のように、巻次が異なっているのであって、各巻の中の篇次はおおむね正しいと思われる。その底本全体の篇次が知りたい。

成立過程の検討の際に述べたように、底本は鄭方坤が鈔写したものの再鈔

- ①後4巻のものは行数が少ない。即ち、志怪的なものが多い。
- ②評の良いものは前12巻に集中している。趙起杲や余集の雅に対する認識は一般とそれほど大きな隔たりはないといえよう。
- ③前12巻中においても巻末に後4巻的諸篇が集中している。
- ④対応させた鑄本の篇次はおおむね小→大へと流れる。但し、前述のように断層や逆転が見られる。これは青本の底本と巻内での篇次は同じであるが、巻次は異なるらしいことを意味していると考えられる。

次に、④に注目して12巻だての鑄本を16巻に分けてみよう。起杲の使用した底本は16巻だてであった。ここで使用するのは表2「鑄本青本篇次No対照表」である。この表は表1とは逆に鑄本の篇次に青本の篇次を対応させたものである。各篇が前12巻、後4巻のいずれに属しているかもわかるようにしてある。この表の番号の連続の流れの切れ目、4冊の残存原稿本、1巻の篇数の目安が30篇程度になることなどから考えて次のように分割した。

- ①鑄 1～35 ①・②の間には明確な切れ目がないので、量的に半分の所で切る。
- ②鑄 36～63 ②の終わりは、稿本第1冊の終わりに対応すると考えて切った。
- ③鑄 64～86 鑄87・89は100・104と共に青本の巻4の巻末補充に使われているので、④に属するとする。
- ④鑄 87～111 112から稿本第2冊。
- ⑤鑄 112～141
- ⑥鑄 142～172 173から稿本第3冊。
- ⑦鑄 173～205
- ⑧鑄 206～241 241は稿本第3冊の最後。
- ⑨鑄 242～273
- ⑩鑄 274～307
- ⑪鑄 308～329
- ⑫鑄 330～378 379から稿本第4冊。
- ⑬鑄 379～399
- ⑭鑄 400～417 417は稿本第4冊の最後。
- ⑮鑄 418～453
- ⑯鑄 454～488

以上、鋳本は16巻に分割できた。しかし、これらが各巻が青本に表われる順序は非常に前後している。出現順に並べると

①→②→③→⑮→⑭→⑥→④→⑤→⑨→⑦→⑩→⑬→⑧→⑫→⑪→⑯

となる。表3をご覧いただきたい。これは鋳本篇次をこの趙起杲の使用した底本の巻次に並べ換え、各篇の青本の前12巻・後4巻への帰属を一覧にしたものである。特に前12巻への帰属の欄に注目されたい。*を付したものが番号の流れを阻害するが、これらは青本の前12巻の各巻末補充部分である。これらについては後述のように、本来前12巻に属するものではないので、除外して眺めると、ほぼ一貫して乱れる事なく青本Noが小→大へ趙起杲の使用した底本の巻1から巻16まで流れてゆく。断層・逆転は巻次の乱れに起因する事が確かめられたと思う。趙起杲らが使用していた底本の篇次は、細かい錯綜はあるものの、おおむねこのようになっていたと考えられる。これを起杲の使用した底本（以下「仮想底本」と称す）とし、新たに巻数を（ ）を付して呼ぶことにする。その対応は、

仮想底本	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
16分割鋳本	①	②	③	⑮	⑭	⑥	④	⑤	⑨	⑦	⑩	⑬	⑧	⑫	⑪	⑯

となる。

IV. 後4巻の乱れとその原因

さて、前章で確認したように、青本前12巻の篇次は仮想底本の篇次を遵守しつつ抽出されたものであった。時に孤立するものもあるが、鈔写を重ねているので、その際にこれらのものは配列を変更されたため錯綜しているのであろう。いわば事故的なものである。ここでは個々にその原因や本来の位置を追及しない。それでは、青本の後4巻についてはどうであろうか。底本から「雅」なるもの12巻を選びその篇次が底本の篇次をとどめているならば、残った「雅」ならざるもの4巻も底本の篇次順に並ぶべき筈である。ところがそうはなっていない。表2の後4No.の欄からも確認できる。それをさらに明らかにするために表4「後4巻帰属表」を作成した。

一見して明らかのように、単純に(1)(2)(3)(4)の順には並ばず、底本の篇次は遵守されていない。しかし、そうかといって、全く順序がないというわけでもなく、グループを形成している。一つのグループしか作っていない(15)や(11)の例がある一方、(1)(2)のように2つのグループを形成しているものもある。

整理しやすくするために表に記したようにグループに名前をつけた。

このような後4巻における諸篇の分布は単なる偶然とは考えにくい。必ず誰かが何かの意図をもって行ったものと思われる。これは雅でない残り物にさらに取捨選択を行おうとしたのではないのだろうか。例えば(1)₁と(1)₂を比べてみる。表1から(1)₁と(1)₂を抜き出してみよう。ただし、(1)に属さない青本No.250、No.388は除外する。

(1) ₁					(1) ₂				
青No.	篇名	鑄No.	鑄本評	行数	青No.	篇名	鑄No.	鑄本評	行数
241	尸変	3	×	27	382	耳中人	2	×	9
242	噴水	4	×	12	383	咬鬼	8	×	15
243	山魃	7	×	16	384	捉狐	9	×	10
244	菽中怪	10	×	13	385	斫鱗	18	○	8
245	王六郎	12	○○○	52	386	野狗	25	×	11
246	蛇人	13	○○	35	387	狐入瓶	27	×	5
247	雹神	20	×	16	389	真定女	29	○	4
248	僧孽	23	○	10	390	焦螟	30	×	15
249	三生	26	○○	26	391	宅妖	11	×	12
251	宅妖	28	×	11	392	靈官	35	×	12
252	四十千	32	○	10					

(1)₁の方が評がよく、(1)₁の方に行数の多いややストーリー性を感じさせるものがあるのに対して、(1)₂の方には「靈官」など汚い話が多い、といったおぼろげながら特徴が見いだせる。ほかのグループでは、(2)₁と(2)₂では(2)₁には恩や義というものを扱った話「丁前溪」「義鼠」などがあるのに(2)₂には見られない。(3)₁と(3)₂では(3)₁にはストーリー性の他に「某公」のように善を勧めるものがあるのに対して、(3)₂では「江中」「龍」など志怪・怪奇ニュースといった性格の篇が多い。しかし、この区別も明白なものではなく、どちらにも考えられるような篇が少なくない。(1)(2)(3)については何とか言えても(13)₁(13)₂・(14)₁(14)₂になると殆ど差は見つけられない。

しかし、(1)(2)(3)(4)までは作品の優劣で分け、それ以後は別人が別の尺度、ないしは無作為に分けたものとも考えられる。その可能性を示唆するのが、青本前12巻末に付された志怪的諸篇である。これについて詳しく見れば以下のようなものである。

- ・ 卷 1 なし
- ・ 卷 2 33「伏狐」以下 7 篇
- ・ 卷 3 57「番僧」以下 6 篇
- ・ 卷 4 77「金和尚」以下 5 篇
- ・ 卷 5 97「大力將軍」
- ・ 卷 6 114「狐聯」
- ・ 卷 7 129「余徳」
- ・ 卷 8 146「聶政」以下 3 篇
- ・ 卷 9 162「羅祖」以下 7 篇
- ・ 卷 10 183「鄱陽神」以下 8 篇
- ・ 卷 11 205「布商」以下 7 篇
- ・ 卷 12 227「豢蛇」以下 8 篇

16 卷の青本『聊齋志異』は序や題詩、目録などを収める巻 1 が 86 葉であるのを除くと、各巻が 67、8 葉である。12 巻選本を取りやめて 16 巻で刊刻することになり、単純に選に漏れた分を後 4 巻として付刻する事にし計算をしたら、そのままでは後 4 巻の葉数が前 12 巻より増え体裁が悪い。そこで、後 4 巻の一部を前 12 巻の各巻末に付したと推定する事ができる。これらの諸篇が表 3 の前 12No. の欄で数字の流れを阻害しているのはこのためである。

さらにこれらが仮想底本のどの巻から持ってこられたかを列挙してみると、

青本巻次	仮想底本巻次
・ 卷 2	(7)(4)(6)(6)(6)(6)(13)
・ 卷 3	(8)(8)(8)(8)(8)(9)
・ 卷 4	(11)(7)(7)(7)(7)
・ 卷 5	(13)
・ 卷 6	(3)
・ 卷 7	(8)
・ 卷 8	(9)(9)(9)
・ 卷 9	(9)(9)(10)(10)(10)(10)(9)
・ 卷 10	(10)(10)(11)(11)(11)(11)(11)(12)
・ 卷 11	(12)(12)(13)(13)(13)(13)
・ 卷 12	(13)(14)(14)(14)(14)(15)(15)(15)

となっている。この表からも判るように、前 12 巻の補填も仮想底本の巻次に沿った形で進められている傾向がある。ところが、(1)(2)(3)(4)(5)には(3)(4)の各 1 篇を除いて使用された篇はない。全体的にみてこの 2 篇の錯綜は或いは底本篇次の錯綜に起因することとも考えられよう。つまり、仮想底本の前 5 巻からの補填を故意に避けていると見られる。これは後 4 巻附刻の任にあたった鮑廷博が、単なる丁数あわせの為だけに仮想底本前 5 巻の篇次に手を加え

ることを忌避したのではなかろうか。つまり、(1)(2)(3)(4)(5)の部分には選余の篇についても整理が行われていたため手をつけなかったのであろう。それは鮑廷博の尊敬する人物、趙起杲をおいて他には考えられない。この整理作業が半ばにしてやんでいるのは起杲の急死によるものであろう。

起杲は乾隆30年の3月、余集と編集を開始した。11月に余集は序を撰した上で会試に旅立った。このとき12巻選本の編集作業はほぼ完成していたに違いない。起杲は1月に鮑廷博に残り4巻分が刊刻できず、公にならないことを遺憾に思い、その残り4巻を鮑廷博に審定刊刻して欲しいと漏らしている。鮑廷博は「唯唯」と承諾しているが、この返事は生返事だ。ここには残り4巻がすでに自分では刊行できないとする諦めの気持ちが窺える。そうして、5月に12巻の版刻がなった。この1月から5月の間、起杲が『聊齋志異』に対しても何もしていなかったのだろうか。きっと残り4巻について吟味を加えていたに違いない。1巻でも刊刻の機会があれば刊刻できるように、選余の篇についてさらにランクづけを行っていったのだ。しかし、残りの部分はいつ刊刻されるとも判らぬため前12巻の時のような速さではすすまなかったのだろう。機会、即ち資金に余裕ができた時に、といってもおそらく借金をしてそのめどはもっていなかっただろうが、刊行するつもりで一人でこつこつ進めていたのであろう。ところが、おもいもかけず、丁度12巻の版刻が終了した5月に「弁言」を書いたところで頓死してしまったのである。まだこのころ起杲の子供は父の遺志を果たせるほどには成長していなかった。起杲の弟の依頼もあり、1月の趙起杲との話もあり、その遺志を鮑廷博が継いで後4巻も刊刻したのである。16巻への変更は趙起杲を追悼するためのものに他ならない。単に起杲の「例言」の言うように「惜しくなって付刻する」という理由だけでは、急な出版計画の変更と、この後4巻に見られる事情に説明がつかない。「例言」は起杲の死後書き改められたものであろう。後4巻刊刻の原稿となったのは起杲の手がけていた残稿であった。これを無視することはできる筈がなかった。16巻の丁数を整えるために前12巻の最後を増やす埋め草には起杲が整理してしまった部分からもってくることは出来なかったのである。

趙起杲は後4巻を刊刻出来ない事を遺憾に思い、その遺憾のうちに急逝した。その結果、起杲の遺憾は友人鮑廷博の手によって成就された。もし、起杲の急逝がなければ後4巻は刊刻されることがなかったろう。

V. どうして12巻選本を作ろうとしたか——経済的側面から

趙起杲は『聊齋志異』をこよなく愛したにもかかわらず、その完全な出版ではなく、12巻という選本での刊行を思い立ったのか。理由は経済的側面からと精神的側面からの二つが考えられる。経済的側面からの理由を簡単に言えばそれは彼には金が無かったからである。起杲の伝記資料をみても、その経済的困窮についての記述が多い。

- ・俸給では不足で、質入れをして刊刻事業を継続した。（「紀事」）
- ・この本の出版にあたって、出資し事を進めてくれたのは鮑廷博氏（「弁言」）
- ・趙起杲は無欲に甘んずる性格で、食事は一品、服も重ねて着なかった。十数年も任官したが、財布は空っぽだった。古田に赴任していたとき、大きな借金をし、資産を売り払ってやっと返済した。（『萊陽県志』）
- ・嚴州は浙江でも瘦せた土地柄で、いつも給料の欠配に困っていた。（「墓誌銘」）

以上のような具合である。それでも地方官であったのだから幾許かの蓄えもあったかもしれない。では、『聊齋志異』の刊刻にはどの程度の費用が必要であったであろうか？

「武英殿聚珍版程式」に見える金簡の乾隆38年10月28日の奏議によれば、
版木1枚銀1錢　　字刻100字銀1錢（版下書料・刻料）
という。版木の大きさ、出版の格の違いを考慮にいれず、乱暴ではあるが、これをそのまま『聊齋志異』に当てはめると『聊齋志異』16巻版木1,076枚約400,000字を刻するのには銀41,000両弱の費用がかかる計算になる。（12巻ならその3/4で30,750両）

一方役人の給料の方は、『清史稿』によれば、年俸で

知県正7品——銀 45両　米 22.5石

同知正5品——銀 80両　米 40.0石

知府従4品——銀 105両　米 52.5石

（米1石は銀1両2錢相当）

となっている。俸給だけではとても書籍の刊行などは無理なのであった。給料だけでは足りないので質入れしながら刊刻をつづけたとあるのももつともである。趙起杲は全面的に財政を鮑廷博に頼ったのではなく、自分が主な出資者であり、鮑廷博はその補助的立場にあったと考えられる。これが16巻を

12巻で刊刻しなくてはならなかった理由であろう。

VI. どうして12巻選本を作ろうとしたか——精神的側面から

もうひとつ、精神面からの理由を考えたい。それにはまず趙起杲の人物を知る必要がある。

趙起杲はたびたびの受験にもかかわらず郷試にも合格できず、いわゆる栄達の人ではなかった。そのためか伝記資料も少ない。後年知府・同知を歴任するが、彼の詩文集は刊行されてはいないようだ。筆者の入手できた彼の伝記資料は次の2つである。

①『萊陽県志』（国民24年 鉛印本）

②蕺州太守趙公暨両夫人合葬墓誌銘 余集撰

②の墓誌銘は起杲の没後20年（乾隆51）後、妻の（妻は二人いた）張氏が没し、起杲の第4子午彤が余集に執筆を乞うたものである。余集は承知のように起杲の幕下から進士に合格した人物で、青本の成立に重要なかかわりをもつ。余集は行状に基づいて墓誌銘を撰したというが、行状については捜し当たらなかった。

この二つに基づいて彼の伝記を整理してみよう。

起杲の正確な生年・生地はわからない。墓誌銘に最初の任官が40歳前というところから類推すると康熙57（1718）年頃の生まれである。父は昌化公とのみ知られる。萊陽県志にみえる趙莘がその人にあたると思われる。莘は歳貢で霑化県の教諭になったのち雍正3年に浙江の昌化県知県に転じているから、起杲は萊陽の地で生まれたものと思われる。ここで少し起杲の父、趙莘に触れておく。資料は『萊陽県志』である。

趙莘、字は東野、幼くして父と死別し、母の手で育てられた。歳貢で霑化県教諭を授けられ、雍正3年に昌化県知県になった。清廉潔白な人柄で、徴税の際の火耗（銀納での鑄造費分の付加税）を徴収しなかったことについての上官の譴責を頑としてうけつけなかった等した。その人柄が災いし巡撫へのもてなしが足らず誣告罷免され、以後は故郷で母を養い子を教育したとある。起杲の十代は父の隠居後に相当し、起杲らの教育はこの父が当たった。おそらく父は誇りを持って己の清廉潔白の哲学を子に教え、自分の遺志を継いでくれる事を期待したに違いない。この父も母親の死に遇い、孝行者のあまり後を追うように死んでしまう。起杲がまだ20歳になる前のことであった

ろう。

起杲は長男で、下に3人の弟がいた。父の死後起杲兄弟は山の別荘にこもり、お互いを師友として学問に励んだという。師につくだけの経済的余裕がなかったのである。が、その甲斐もなく兄弟揃って郷試に臨むものの何度受験しても合格できなかった。そうこうしているうちに次弟、三弟と死に、末弟の起杭と二人きりになってしまった。官を金で買うことは起杲の潔しとする所ではなかったろうが、当時の清代社会、官につき家名を上げることがなよりの名誉である。一応の資格もあるし、弟の勧めもあって金で連江県知県の職を買う。萊陽県志ではその前に漳州府の南勝知県の役所勤めをしたことになっている。ここでの功績が連江知県を金で買う事を可能にした下地になったのであろう。連江の次に古田に任官する。ここで新寧からの脱走犯を捕まえて巡撫に誉められたと言う。また萊陽県志では裁判に滞りがなく巡撫に誉められたと言う。父は巡撫に誣告されたことと比べ、彼の心中はいかがであったか。ともあれ、彼はその力量を買われて杭州府同知に抜擢される。高宗南巡にあたり道路整備がよく、為に嚴州知府を授けられた。任官早々童試の監督の最中に発作を起こして死んでしまった。50歳に満たない短い一生であった。

一見したところ、彼の一生は父の代からしてあまりうだつのあがらなかった一地方官の一生という印象を受けるかもしれない。しかし、実は萊陽県において趙氏は唐代以来の名家なのである。試みに『萊陽県志』の人物志を紐解けば、そこに登場する趙姓の人々はことごとく1つの趙氏の家系に連なり、挙人・進士を輩出している。進士は清代になって趙起杲の同世代の一人を含めて9人、挙人は10人を数える。起杲の次子未彤と4子午彤も、父起杲の死後ではあるが挙人進士となった。

このことは彼の生活に対して「名門」という重圧をかけていたに相違なく、その一挙手一投足に読書人としての振る舞い、すなわち「小説」、たとえそれが文言でも、には手を染めぬという態度、が要求されていたと考えられる。紙幅の関係で論証は省くが、『聊齋志異』が蒲松齡の死後50年も刊行されなかったこと、済南の朱家で一度は刊行されそうになりながら中止となったこと、青本以前には唯一志怪小説集の『説鈴』を除いて志怪書の刊行が行われていなかったこと、青本の度重なる印刷が後代の志怪書刊行の呼び水となったこと、起杲自身出版を躊躇していたことなどはその圧力を証明するもので

ある。

しかし、他方、彼には蒲松齡と同じく志を遂げられない文人という顔を持っていたことも事実である。好事家の顔をのぞかせやすい境遇でもある。また、彼の手元には『聊齋志異』のかなり信頼できる鈔本があった。借りに来る人々も後を絶たない。刊行すれば最初の刊刻者ということにもなる。この二つの要求の妥協の産物として考えられたのが、「雅」なるものを選んで12巻で刊行という計画ではなかったのだろうか。

使用テキスト：青 本：『聊齋志異原稿及趙刻合編』 1978 台湾 鼎文書局
鈔 本：『鑄雪齋鈔本聊齋志異』 1974 上海人民出版社
その他：『聊齋志異会校会注会評本』張友鶴輯校 1978新1版
上海古籍出版社

表1 青本鑄本篇次No.对照表

青No.	題名	鑄No.	鑄本評	行数	青No.	題名	鑄No.	鑄本評	行数	青No.	題名	鑄No.	鑄本評	行数
1	【卷1】				72	痴聖神霞續尚借電醫生	412	○○○	63	143	胡僧柳二	277	○○○	72
2	【卷1】				73	天蛙	413	○○○	50	144	胡僧柳二	278	○○○	16
3	【卷1】				74	秋和	414	○○○	71	145	胡僧柳二	280	○○○	54
4	【卷1】				75	晚白金	416	○○○	78	*146	胡僧柳二	247	○○○	10
5	【卷1】				76	秋和	417	○○○	101	*147	胡僧柳二	247	○○○	46
6	【卷1】				*77	晚白金	288	×	42	*148	胡僧柳二	259	○○○	6
7	【卷1】				*78	秋和	87	×	12	【卷9】	主后娘續翠柳生娘官獄人女裙相樹人年子子令	379	○○○	135
8	【卷1】				*79	秋和	89	×	8	149	胡僧柳二	283	×	46
9	【卷1】				*80	晚白金	100	×	9	150	胡僧柳二	248	○○○	93
10	【卷1】				*81	晚白金	104	○○	12	151	胡僧柳二	285	○○○	96
11	【卷1】				【卷5】	黃狐	143	○○○	57	152	胡僧柳二	287	○○○	108
12	【卷1】				82	狐統小辛	148	○○○	107	153	胡僧柳二	293	○○○	72
13	【卷1】				83	狐統小辛	150	○○○	20	154	胡僧柳二	298	○○○	72
14	【卷1】				84	狐統小辛	152	○○○	141	155	胡僧柳二	304	○○○	46
15	【卷1】				85	狐統小辛	153	×	23	156	胡僧柳二	381	○○○	56
16	【卷1】				86	狐統小辛	159	○○	36	157	胡僧柳二	281	○○○	25
17	【卷1】				87	狐統小辛	402	○○	142	158	胡僧柳二	384	○○○	92
18	【卷2】				88	狐統小辛	91	○○	31	159	胡僧柳二	392	×	114
19	【卷2】				89	狐統小辛	92	○○○	86	160	胡僧柳二	393	○○○	102
20	【卷2】				90	狐統小辛	93	×	18	161	胡僧柳二	255	×	24
21	【卷2】				91	狐統小辛	96	○○○	89	*162	胡僧柳二	265	×	12
22	【卷2】				92	狐統小辛	98	○○○	103	*163	胡僧柳二	175	×	6
23	【卷2】				93	狐統小辛	99	○○○	103	*164	胡僧柳二	182	×	4
24	【卷2】				94	狐統小辛	102	○○○	42	*165	胡僧柳二	186	○○○	8
25	【卷2】				95	狐統小辛	472	○○○	39	*166	胡僧柳二	187	×	3
26	【卷2】				96	狐統小辛	219	○○○	33	*167	胡僧柳二	272	×	3
27	【卷2】				*97	狐統小辛	112	○○○	38	*168	胡僧柳二	398	○○○	125
28	【卷2】				【卷6】	石灯城秀二娘	116	×	19	【卷10】	雄生寧平秋女甫仙氏謝芳七生昌神流眼珠鬼老明語	394	○○○	33
29	【卷2】				98	石灯城秀二娘	103	○○○	71	169	胡僧柳二	395	○○○	102
30	【卷2】				99	石灯城秀二娘	105	○○○	33	170	胡僧柳二	396	○○○	91
31	【卷2】				100	石灯城秀二娘	108	○○○	66	171	胡僧柳二	397	○○○	125
32	【卷2】				101	石灯城秀二娘	109	○○○	73	172	胡僧柳二	382	○○○	44
33	【卷2】				102	石灯城秀二娘	110	○○○	98	173	胡僧柳二	211	○○○	167
34	【卷2】				103	石灯城秀二娘	118	○○○	65	174	胡僧柳二	216	○○○	74
35	【卷2】				104	石灯城秀二娘	119	○○○	53	175	胡僧柳二	221	○○○	45
36	【卷2】				105	石灯城秀二娘	120	○○○	19	176	胡僧柳二	223	○○○	113
37	【卷2】				106	石灯城秀二娘	121	○○○	48	177	胡僧柳二	232	○○○	40
38	【卷2】				107	石灯城秀二娘	124	○○○	34	178	胡僧柳二	234	○○○	68
39	【卷2】				108	石灯城秀二娘	130	○○○	123	179	胡僧柳二	335	○○○	27
40	【卷2】				109	石灯城秀二娘	132	○○○	91	180	胡僧柳二	313	本	文欠
41	【卷2】				110	石灯城秀二娘	131	○○○	139	181	胡僧柳二	192	×	6
42	【卷2】				111	石灯城秀二娘	135	×	75	*182	胡僧柳二	202	×	3
43	【卷2】				112	石灯城秀二娘	77	×	9	*183	胡僧柳二	286	×	5
44	【卷2】				*114	石灯城秀二娘	125	○○	54	*184	胡僧柳二	289	×	9
45	【卷2】				【卷7】	翻織果異城王女女才英童娥頭德	136	○○○	66	*185	胡僧柳二	292	×	5
46	【卷2】				115	翻織果異城王女女才英童娥頭德	243	○○○	26	*186	胡僧柳二	301	本	文欠
47	【卷2】				116	翻織果異城王女女才英童娥頭德	246	○○○	44	*187	胡僧柳二	305	本	文欠
48	【卷2】				117	翻織果異城王女女才英童娥頭德	251	○○○	136	*188	胡僧柳二	380	○	17
49	【卷2】				118	翻織果異城王女女才英童娥頭德	253	○○○	55	*189	胡僧柳二	238	○○○	44
50	【卷2】				119	翻織果異城王女女才英童娥頭德	257	○○○	137	【卷11】	角儂官九惡仙客奴梅女漸城生女南神法首神軍	330	○○○	37
51	【卷2】				120	翻織果異城王女女才英童娥頭德	258	○○○	85	191	胡僧柳二	332	○○○	37
52	【卷2】				121	翻織果異城王女女才英童娥頭德	261	○○○	87	192	胡僧柳二	336	○○○	96
53	【卷2】				122	翻織果異城王女女才英童娥頭德	262	×	20	193	胡僧柳二	338	○○○	88
54	【卷2】				123	翻織果異城王女女才英童娥頭德	264	○○○	93	194	胡僧柳二	341	○○○	96
55	【卷2】				124	翻織果異城王女女才英童娥頭德	267	○○	27	195	胡僧柳二	342	○○○	88
56	【卷2】				125	翻織果異城王女女才英童娥頭德	268	○○○	116	196	胡僧柳二	345	○○○	95
57	【卷2】				126	翻織果異城王女女才英童娥頭德	173	○○○	91	197	胡僧柳二	358	○○○	94
58	【卷2】				127	翻織果異城王女女才英童娥頭德	127	○	33	198	胡僧柳二	362	○○○	45
59	【卷2】				*129	翻織果異城王女女才英童娥頭德	176	○○○	99	199	胡僧柳二	365	○○○	113
60	【卷2】				【卷8】	娘穿端子主月主女娘子	177	○○○	44	200	胡僧柳二	314	○○○	139
61	【卷2】				130	娘穿端子主月主女娘子	180	○○○	71	201	胡僧柳二	316	○○○	80
62	【卷2】				131	娘穿端子主月主女娘子	183	○○○	100	202	胡僧柳二	319	○○○	95
63	【卷2】				132	娘穿端子主月主女娘子	185	×	101	203	胡僧柳二	389	○	13
64	【卷2】				133	娘穿端子主月主女娘子	193	○○○	64	204	胡僧柳二	390	×	5
65	【卷2】				134	娘穿端子主月主女娘子	194	○○○	65	*205	胡僧柳二	217	×	19
66	【卷2】				135	娘穿端子主月主女娘子	195	○○○	23	*206	胡僧柳二	218	×	4
67	【卷2】				136	娘穿端子主月主女娘子	197	○○○	63	*207	胡僧柳二	230	×	7
68	【卷2】				137	娘穿端子主月主女娘子	204	○○○	50	*208	胡僧柳二	233	×	6
69	【卷2】				138	娘穿端子主月主女娘子	205	○○○	78	*209	胡僧柳二	213	×	6
70	【卷2】				139	娘穿端子主月主女娘子	34	○	24	*210	胡僧柳二	320	○○○	101
71	【卷2】				140	娘穿端子主月主女娘子	274	○○○	136	*211	胡僧柳二	322	○○○	116

書No.	題名	評	本	行	行	書No.	題名	評	本	行	行	書No.	題名	評	本	行	行					
214	崔安薛田王寄褚公幼桓粉錦屏參狂孫張紅負鞠盜門	○	○	○	100	287	蔡月武	○	○	39	361	放鬼医夏河澗河社林大胡	○	○	○	7	296	蝶舞術管仙令生翁氏風姑	○	○	○	7
215	期魁子桂	○	○	○	23	288	芙蓉侯狂技鶴官僧鬼別仙士夫獸史人才子生輝市生牙僧飛聽瘴三生官夫虫天神石鬼雲公畜刀狐	○	○	20	362	間	○	○	○	15	299	僧医婦安洞大洪土仙人鬼狐蟒狗極江女孽妖官	○	○	○	15
216	猛島娘成庵生良夏針侯蝶戀淑蛇生振量鼈尸如戸	○	○	○	71	289	三	○	○	65	363	大狼	○	○	○	5	302	牙山	○	○	○	5
217	遂孫	○	○	○	45	290	道大	○	○	24	364	藥太農郭	○	○	○	24	306	大真	○	○	○	24
218	文	○	○	○	75	291	秀公	○	○	14	365	查義楊張弓耳咬捉研野狐千真集宅靈	○	○	○	7	391	入定	○	○	○	7
219	必不毛	○	○	○	87	292	激	○	○	31	366	貨	○	○	○	14	210	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	14
220	葉	○	○	○	30	293	秀	○	○	12	367	亮弊	○	○	○	14	215	紫菓醜鏡姚采詩毛哥李老元周劉韓太新浙博一花	○	○	○	14
221	桃枝園子溪嵐愛水魃怪郎人神孽生八妖千王狐公吏訓氏女大差受十班綠匠仙生價怪生詐塚鴨妖子雷瓶檢	○	○	○	22	294	州	○	○	7	368	太	○	○	○	8	222	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	8
222	公前	○	○	○	62	295	江	○	○	8	369	中子	○	○	○	21	226	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	21
223	十山水	○	○	○	35	296	州	○	○	21	370	大	○	○	○	9	370	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	9
224	右札	○	○	○	50	297	州	○	○	18	371	八	○	○	○	15	372	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	15
225	可	○	○	○	13	298	州	○	○	4	372	八	○	○	○	24	373	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	24
226	木書債	○	○	○	106	299	州	○	○	5	373	八	○	○	○	10	374	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	10
227	脂鏡灯賊鬼羅	○	○	○	13	300	州	○	○	20	374	八	○	○	○	13	375	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	13
228	擊射	○	○	○	12	301	州	○	○	26	375	八	○	○	○	9	376	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	9
229	擊射	○	○	○	5	302	州	○	○	10	376	八	○	○	○	8	377	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	8
230	擊射	○	○	○	6	303	州	○	○	20	377	八	○	○	○	28	378	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	28
231	擊射	○	○	○	5	304	州	○	○	9	378	八	○	○	○	13	379	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	13
232	擊射	○	○	○	7	305	州	○	○	17	379	八	○	○	○	14	380	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	14
233	擊射	○	○	○	3	306	州	○	○	13	380	八	○	○	○	5	381	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	5
234	擊射	○	○	○	7	307	州	○	○	39	381	八	○	○	○	75	382	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	75
235	擊射	○	○	○	33	308	州	○	○	7	382	八	○	○	○	9	383	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	9
236	擊射	○	○	○	23	309	州	○	○	7	383	八	○	○	○	15	384	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	15
237	擊射	○	○	○	44	310	州	○	○	5	384	八	○	○	○	10	385	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	10
238	擊射	○	○	○	20	311	州	○	○	12	385	八	○	○	○	8	386	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	8
239	擊射	○	○	○	23	312	州	○	○	24	386	八	○	○	○	11	387	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	11
240	擊射	○	○	○	6	313	州	○	○	19	387	八	○	○	○	5	388	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	5
241	擊射	○	○	○	27	314	州	○	○	43	388	八	○	○	○	13	389	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	13
242	擊射	○	○	○	12	315	州	○	○	11	389	八	○	○	○	4	390	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	4
243	擊射	○	○	○	16	316	州	○	○	11	390	八	○	○	○	15	391	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	15
244	擊射	○	○	○	13	317	州	○	○	11	391	八	○	○	○	12	392	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	12
245	擊射	○	○	○	52	318	州	○	○	6	392	八	○	○	○	43	393	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	43
246	擊射	○	○	○	35	319	州	○	○	9	393	八	○	○	○	33	394	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	33
247	擊射	○	○	○	16	320	州	○	○	4	394	八	○	○	○	26	395	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	26
248	擊射	○	○	○	10	321	州	○	○	10	395	八	○	○	○	12	396	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	12
249	擊射	○	○	○	26	322	州	○	○	10	396	八	○	○	○	15	397	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	15
250	擊射	○	○	○	31	323	州	○	○	11	397	八	○	○	○	47	398	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	47
251	擊射	○	○	○	11	324	州	○	○	10	398	八	○	○	○	15	399	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	15
252	擊射	○	○	○	10	325	州	○	○	5	399	八	○	○	○	23	400	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	23
253	擊射	○	○	○	40	326	州	○	○	13	400	八	○	○	○	51	401	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	51
254	擊射	○	○	○	18	327	州	○	○	13	401	八	○	○	○	11	402	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	11
255	擊射	○	○	○	9	328	州	○	○	10	402	八	○	○	○	7	403	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	7
256	擊射	○	○	○	7	329	州	○	○	9	403	八	○	○	○	8	404	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	8
257	擊射	○	○	○	10	330	州	○	○	6	404	八	○	○	○	27	405	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	27
258	擊射	○	○	○	32	331	州	○	○	5	405	八	○	○	○	18	406	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	18
259	擊射	○	○	○	19	332	州	○	○	6	406	八	○	○	○	9	407	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	9
260	擊射	○	○	○	76	333	州	○	○	6	407	八	○	○	○	14	408	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	14
261	擊射	○	○	○	7	334	州	○	○	4	408	八	○	○	○	63	409	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	63
262	擊射	○	○	○	13	335	州	○	○	3	409	八	○	○	○	13	410	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	13
263	擊射	○	○	○	24	336	州	○	○	22	410	八	○	○	○	6	411	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	6
264	擊射	○	○	○	29	337	州	○	○	3	411	八	○	○	○	10	412	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	10
265	擊射	○	○	○	39	338	州	○	○	10	412	八	○	○	○	10	413	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	10
266	擊射	○	○	○	12	339	州	○	○	3	413	八	○	○	○	14	414	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	14
267	擊射	○	○	○	7	340	州	○	○	3	414	八	○	○	○	26	415	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	26
268	擊射	○	○	○	10	341	州	○	○	154	415	八	○	○	○	19	416	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	19
269	擊射	○	○	○	19	342	州	○	○	26	416	八	○	○	○	23	417	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	23
270	擊射	○	○	○	27	343	州	○	○	21	417	八	○	○	○	21	418	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	21
271	擊射	○	○	○	12	344	州	○	○	18	418	八	○	○	○	21	419	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	21
272	擊射	○	○	○	78	345	州	○	○	33	419	八	○	○	○	18	420	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	18
273	擊射	○	○	○	8	346	州	○	○	18	420	八	○	○	○	25	421	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	25
274	擊射	○	○	○	9	347	州	○	○	25	421	八	○	○	○	23	422	尚乙狐巫安翁福神紅戸生全方獄獄生女官神	○	○	○	23
275	擊射</																					

表2 铸本青本篇次No.对照表

铸No.	篇名	前12	後4	铸No.	篇名	前12	後4	铸No.	篇名	前12	後4	铸No.	篇名	前12	後4
1	考耳			69	宝山狐	29		137	柳水			205	彭海	140	
2	城		382	70	王化	---	253	138	秀城	*60		206	秋氏		397
3	人		241	71	州	---	---	139	某御	*61		207	氏彦		398
4	人		242	72	州	31		140	都無		315	肉令	*39		340
5	人			73	州	32	327	141	無		300	甫星			366
6	人			74	州	---	---	142	無	---	---	210	介	175	
7	人		243	75	州	---	---	143	無	82		211	將	---	---
8	人		383	76	州	---	236	144	無		281	閻			---
9	人		384	77	州	*114		145	無		283	翠	*211		432
10	人		244	78	州	40	254	146	無	56	270	閻			367
11	人		391	79	州	---	---	147	無	---	---	214	閻		
12	人		245	80	州	41	328	148	無	---	---	215	閻	176	
13	人		235	81	州	42	329	149	無	---	---	216	閻	*207	
14	人			82	州	43		150	無	84		217	閻	*208	
15	人			83	州	44		151	無	85	337	218	閻	*97	
16	人		246	84	州	---	---	152	無	86		219	閻	---	---
17	人		385	85	州	---	330	153	無		282	220	閻	177	
18	人		---	86	州	*78		154	無		284	221	閻	---	368
19	人		---	87	州	*33		155	無		284	222	閻	178	
20	人		247	88	州	*79		156	無		269	223	閻	---	---
21	人			89	州	89	296	157	無		338	224	閻	---	---
22	人			90	州	90		158	無	87	285	225	閻	---	369
23	人		248	91	州	91		159	無		341	226	閻	371	
24	人			92	州	92	395	160	無			227	閻	393	
25	人		386	93	州	93	286	161	無	*35		228	閻	372	
26	人		249	94	州	94		162	無	*36		229	閻	*209	
27	人		387	95	州	95		163	無		268	230	閻	179	
28	人		389	96	州	96	297	164	無	---	---	231	閻	*210	
29	人		390	97	州	97		165	無		287	232	閻	180	
30	人			98	州	98		166	無		288	233	閻	---	---
31	人			99	州	99		167	無		288	234	閻	---	---
32	人		252	100	州	*80	293	168	無	*37		235	閻	*227	
33	人			101	州	95		169	無	---	---	236	閻	---	---
34	人		141	102	州	100		170	無		290	237	閻	191	
35	人		392	103	州	*81		171	無	*38		238	閻	---	400
36	人		327	104	州	101		172	無		271	239	閻	401	
37	人		320	105	州	101		173	無	128		240	閻	---	---
38	人			106	州	102	292	174	無		317	241	閻	---	---
39	人			107	州	102	388	175	無	*164		242	閻	117	301
40	人			108	州	103		176	無	130		243	閻		
41	人			109	州	103		177	無	131		244	閻		303
42	人			110	州	104		178	無		344	245	閻	118	313
43	人			111	州	98	291	179	無		345	246	閻	*146	
44	人			112	州	---	---	180	無	132		247	閻		
45	人		321	113	州	---	---	181	無	---	---	248	閻		304
46	人		322	114	州	---	294	182	無	*165		249	閻	119	305
47	人			115	州	99	295	183	無	133	342	250	閻		306
48	人			116	州	*57		184	無	134		251	閻		307
49	人			117	州	105		185	無	*166		252	閻	120	
50	人		240	118	州	106		186	無	*167		253	閻	*62	
51	人		323	119	州	107		187	無		343	254	閻	*162	
52	人		238	120	州	107		188	無		347	255	閻	---	---
53	人		239	121	州	108		189	無		346	256	閻	121	
54	人		324	122	州	*58		190	無		348	257	閻	122	
55	人			123	州	109	298	191	無		318	258	閻	*147	
56	人		325	124	州	115		192	無	*183		259	閻		308
57	人			125	州	---	---	193	無	135		260	閻	123	
58	人		250	126	州	---	299	194	無	136		261	閻	124	
59	人			127	州	*129		195	無	137		262	閻		309
60	人			128	州	---	---	196	無		348	263	閻	125	
61	人			129	州	---	---	197	無	138		264	閻	*163	
62	人			130	州	110		198	無		274	265	閻	---	---
63	人			131	州	111		199	無		349	266	閻	126	
64	人		255	132	州	---	---	200	無		350	267	閻	127	
65	人		326	133	州	---	---	201	無		351	268	閻	---	---
66	人			134	州	*59		202	無	*184		269	閻		311
67	人			135	州	113		203	無		352	270	閻		312
68	人			136	州	116		204	無	139		271	閻	*168	316

鑄No.	篇名	前12	後4	鑄No.	篇名	前12	後4	鑄No.	篇名	前12	後4	鑄No.	篇名	前12	後4
273	津島	---	---	343	軍士奴	---	380	413	天蛙	73	---	483	先淑松生女官	---	---
274	人羅道四	142	---	344	陽貢 父必	---	---	414	大聖	74	---	484	家文	226	---
275	---	---	356	345	遼張	198	---	415	青任	30	---	485	東興	---	279
276	---	---	357	346	孫邑	*229	355	416	秋	75	---	486	本用	---	430
277	---	143	---	347	元研	---	---	417	州	76	---	487	本用	---	431
278	---	144	---	348	武大	---	404	418	三	45	---	488	本用	---	432
279	---	*148	---	349	張牧	---	---	419	樓	---	331	青使	本用	---	433
280	---	145	---	350	翁馬	---	---	420	雲	---	332	は	本用	---	434
281	---	158	358	351	不	---	---	421	札	---	333	は	本用	---	435
282	---	---	---	352	司	---	---	422	禮	46	256	は	本用	---	436
283	---	150	---	353	岳小	*230	407	423	雲	---	---	は	本用	---	437
284	---	151	---	354	中	---	---	424	札	---	257	は	本用	---	438
285	---	152	---	355	中	---	---	425	禮	---	258	は	本用	---	439
286	---	*185	---	356	毛	---	---	426	禮	---	259	は	本用	---	440
287	---	153	---	357	鴻	199	319	427	禮	47	335	は	本用	---	441
288	---	*77	---	358	子	---	---	428	禮	48	---	は	本用	---	442
289	---	*186	---	359	子	---	---	429	禮	---	258	は	本用	---	443
290	---	---	359	360	子	---	---	430	禮	---	259	は	本用	---	444
291	---	---	---	361	子	---	---	431	禮	---	---	は	本用	---	445
292	---	*187	---	362	子	200	---	432	禮	---	---	は	本用	---	446
293	---	154	---	363	子	*231	---	433	禮	---	---	は	本用	---	447
294	---	---	360	364	子	---	---	434	禮	---	---	は	本用	---	448
295	---	---	272	365	子	---	---	435	禮	---	261	は	本用	---	449
296	---	---	361	366	子	201	---	436	禮	---	262	は	本用	---	450
297	---	---	---	367	子	---	374	437	禮	---	260	は	本用	---	451
298	---	155	---	368	子	---	---	438	禮	49	---	は	本用	---	452
299	---	---	362	369	子	---	---	439	禮	50	---	は	本用	---	453
300	---	---	---	370	子	---	---	440	禮	*34	---	は	本用	---	454
301	---	*188	---	371	子	---	---	441	禮	---	---	は	本用	---	455
302	---	---	363	372	子	---	---	442	禮	---	263	は	本用	---	456
303	---	---	---	373	子	---	---	443	禮	51	---	は	本用	---	457
304	---	156	---	374	子	---	---	444	禮	---	---	は	本用	---	458
305	---	*189	---	375	子	---	---	445	禮	---	276	は	本用	---	459
306	---	---	364	376	子	---	---	446	禮	52	---	は	本用	---	460
307	---	---	---	377	子	215	---	447	禮	53	---	は	本用	---	461
308	---	---	410	378	子	---	---	448	禮	54	---	は	本用	---	462
309	---	---	411	379	子	149	---	449	禮	---	264	は	本用	---	463
310	---	---	412	380	子	*190	---	450	禮	---	336	は	本用	---	464
311	---	*232	---	381	子	157	---	451	禮	---	267	は	本用	---	465
312	---	---	413	382	子	174	---	452	禮	55	---	は	本用	---	466
313	---	182	---	383	子	---	---	453	禮	---	---	は	本用	---	467
314	---	202	---	384	子	159	---	454	禮	---	277	は	本用	---	468
315	---	*233	---	385	子	---	---	455	禮	---	420	は	本用	---	469
316	---	203	---	386	子	---	396	456	禮	---	421	は	本用	---	470
317	---	*234	---	387	子	---	---	457	禮	---	422	は	本用	---	471
318	---	---	414	388	子	---	394	458	禮	---	423	は	本用	---	472
319	---	204	---	389	子	*205	---	459	禮	---	---	は	本用	---	473
320	---	212	---	390	子	*206	---	460	禮	---	---	は	本用	---	474
321	---	---	415	391	子	160	---	461	禮	---	278	は	本用	---	475
322	---	213	---	392	子	161	---	462	禮	---	424	は	本用	---	476
323	---	---	416	393	子	161	---	463	禮	216	---	は	本用	---	477
324	---	---	417	394	子	170	---	464	禮	217	---	は	本用	---	478
325	---	---	418	395	子	171	---	465	禮	218	---	は	本用	---	479
326	---	214	---	396	子	172	---	466	禮	219	---	は	本用	---	480
327	---	---	419	397	子	173	---	467	禮	425	---	は	本用	---	481
328	---	---	---	398	子	169	---	468	禮	220	---	は	本用	---	482
329	---	---	---	399	子	---	280	469	禮	---	426	は	本用	---	483
330	---	192	---	400	子	63	---	470	禮	---	---	は	本用	---	484
331	---	---	402	401	子	64	---	471	禮	---	---	は	本用	---	485
332	---	193	---	402	子	88	---	472	禮	*96	---	は	本用	---	486
333	---	---	403	403	子	---	273	473	禮	---	339	は	本用	---	487
334	---	---	353	404	子	65	---	474	禮	---	---	は	本用	---	488
335	---	181	---	405	子	66	---	475	禮	221	---	は	本用	---	489
336	---	194	---	406	子	67	---	476	禮	---	427	は	本用	---	490
337	---	---	354	407	子	68	---	477	禮	222	---	は	本用	---	491
338	---	195	---	408	子	69	---	478	禮	223	---	は	本用	---	492
339	---	*228	---	409	子	70	---	479	禮	224	---	は	本用	---	493
340	---	---	---	410	子	---	266	480	禮	---	---	は	本用	---	494
341	---	196	---	411	子	71	---	481	禮	225	---	は	本用	---	495
342	---	197	---	412	子	72	---	482	禮	---	428	は	本用	---	496

先淑松生女官 12巻の巻末に未収の巻を16巻に分割し
 家文 東興 前本 未収の巻を16巻に分割し
 李房 泰新 博一 本用 青鏡 境
 青使は 本用 青鏡 境

表3 仮想底本篇次書本帰属表

仮想 底本 No.	前 12 No.	後 4 No.															
1			70		253	417		76	124	109	193	207		398	366		374
2		382	71			142			125	115	194	208	*39	巻2	367		310
3		241	72	31		143	82		126		195	209		340	368		406
4		242	73		327	144		282	127		196	210		366	369		
5			74	32		145		283	128		197	211	175		370		375
6			75			146		270	129		198	212			371		408
7		243	76		236	147	56		130	110	199	213	*211	巻11	372		376
8		383	77	*114	巻	148			131	112	200	214		432	373		409
9		384	78		254	149			132	111	201	215		367	374		378
10		244	79	40		149			133		202	216	176	巻10	375		379
11		391	80		328	150	84		134	*59	巻3	203	*207	巻11	376		377
12		245	81	41		151		337	135	113	204	217	*208	巻11	377	215	
13		235	82		329	152	85		136	116	205	218	*97	巻5	378		
14			83	42		153	86		137		302	219			379		
15			84	43		154		282	138	*64	巻3	220			380		410
16			85	44		155		284	275	*61	巻3	221	177		309		411
17		246	86		330	156		269	276		315	222		356	310		412
18		385	87			157		338	277		300	223	178		311	*232	巻12
19			88	45		158		285	278		144	224			312		413
20		247	89		331	159	87		279	*148	巻8	225			313	182	
21			90		332	160		341	280		117	226			314	202	
22			91		333	161	*35	巻2	281		303	227			315	*233	巻12
23		248	92		334	162	*36	巻2	282		313	228			316	203	
24			93	46		163		268	283	150		229		358	317	*234	巻12
25		386	94		256	164		247	284	151		230	*209	巻11	318		414
26		249	95			165		287	285	152		231			319	204	
27		387	96			166		289	286	*185	巻10	232	179		320	212	
28		391	97	47		167		288	287	153		233	*210	巻11	321		415
29		389	98	48		168	*37	巻2	288	*77	巻3	234			322	213	
30		390	99		258	169		252	289	*186	巻10	235			323		416
31			100		259	170		253	290	154		236	*227	巻12	324		417
32		252	101			171	*38	巻2	291		307	237			325		418
33			102			172		271	292	*162	巻9	238	191		326	214	
34		141	103			173		256	293	154		239		400	327		419
35		392	104		261	174	*78	巻4	294		308	240		401	328		
36			105		262	175	*33	巻2	295		272	241			329		
37		320	106		260	176	*79	巻4	296		308	242			330	192	
38			107			177		296	297			243		361	402		277
39		12	108	49		178		89	298	155		244			193	454	220
40		13	109	50		179		90	299		362	245			333	455	420
41		14	110	*34	巻1	180		91	300			246			334	456	421
42			111			181		92	301	*188	巻1	247			335	457	422
43			112		263	182		93	302		363	248			336	458	423
44			113			183		94	303			249			337	459	
45		321	114	51		184		95	304			250			338	460	
46		322	115			185		96	305	156		251			339	461	278
47		17	116		276	186		97	306	*189	巻10	252			340	462	424
48		18	117			187		98	307			253			341	463	216
49		19	118	52		188		99	308			254			342	464	217
50			119	53		189	*80	巻4	309			255			343	465	218
51		240	120	54		190		100	310			256			344	466	219
52		238	121		264	191		101	311			257			345	467	425
53		239	122		336	192		102	312			258			346	468	220
54		324	123		267	193		103	313			259			347	469	426
55		20	124			194		104	314			260			348	470	
56		325	125			195		105	315			261			349	471	96
57		21	126		273	196		106	316			262			350	472	339
58		250	127			197		107	317			263			351	473	
59		22	128	65		198		108	318			264			352	474	221
60		23	129	66		199		109	319			265			353	475	427
61		24	130	67		200		110	320			266			354	476	222
62		25	131	68		201		111	321			267			355	477	223
63			132	69		202		112	322			268			356	478	224
64			133	70		203		113	323			269			357	479	
65			134		273	204		114	324			270			358	480	225
66		26	135			205		115	325			271			359	481	428
67		27	136		266	206		116	326			272			360	482	429
68		28	137			207		117	327			273			361	483	
69		29	138			208		118	328			274			362	484	226
70			139			209		119	329			275			363	485	279
71			140			210		120	330			276			364	486	430
72			141			211		121	331			277			365	487	431
73			142			212		122	332			278			201	488	432

注) ---は青本不載篇 *は青本前12巻巻末補充の篇で右にその巻数を記した。

表4 青本後4卷諸篇歸屬表

【卷1 3】		【卷1 4】		【卷1 5】		【卷1 6】	
青本	鑄本	青本	鑄本	青本	鑄本	青本	鑄本
235	13 (1)	280	399 (12)	341	160 (6)	393	228 (13)
236	76 (3)	281	144 (6)	342	184 (10)	394	388 (12)
237	36 (2)	282	154 (6)	343	188 (10)	395	94 (7)
238	52 (2)	283	145 (6)	344	178 (10)	396	386 (12)
239	53 (2)	284	155 (6)	345	179 (10)	397	206 (13)
240	50 (2)	285	158 (6)	346	190 (10)	398	207 (13)
241	3 (1)	286	95 (7)	347	189 (10)	399	231 (13)
242	4 (1)	287	165 (6)	348	196 (10)	400	239 (13)
243	7 (1)	288	167 (6)	349	199 (10)	401	240 (13)
244	10 (1)	289	166 (6)	350	200 (10)	402	331 (14)
245	12 (1)	290	170 (6)	351	201 (10)	403	333 (14)
246	17 (1)	291	111 (7)	352	203 (10)	404	348 (14)
247	20 (1)	292	106 (7)	353	334 (14)	405	360 (14)
248	23 (1)	293	101 (7)	354	337 (14)	406	368 (14)
249	26 (1)	294	114 (8)	355	346 (14)	407	354 (14)
250	58 (2)	295	115 (8)	356	275 (11)	408	371 (14)
251	28 (1)	296	90 (7)	357	276 (11)	409	373 (14)
252	32 (1)	297	97 (7)	358	282 (11)	410	308 (15)
253	70 (3)	298	123 (8)	359	291 (11)	411	309 (15)
254	78 (3)	299	126 (8)	360	294 (11)	412	310 (15)
255	64 (3)	300	141 (8)	361	296 (11)	413	312 (15)
256	424 (4)	301	242 (9)	362	299 (11)	414	318 (15)
257	426 (4)	302	173 (8)	363	302 (11)	415	321 (15)
258	430 (4)	303	244 (9)	364	306 (11)	416	323 (15)
259	431 (4)	304	248 (9)	365	391 (12)	417	324 (15)
260	437 (4)	305	249 (9)	366	210 (13)	418	325 (15)
261	434 (4)	306	259 (9)	367	215 (13)	419	327 (15)
262	435 (4)	307	252 (9)	368	222 (13)	420	455 (16)
263	442 (4)	308	260 (9)	369	226 (13)	421	456 (16)
264	449 (4)	309	263 (9)	370	352 (14)	422	457 (16)
265	414 (5)	310	367 (14)	371	227 (13)	423	458 (16)
266	410 (5)	311	269 (9)	372	229 (13)	424	462 (16)
267	451 (4)	312	270 (9)	373	359 (14)	425	467 (16)
268	163 (6)	313	245 (9)	374	366 (14)	426	469 (16)
269	156 (6)	314	256 (9)	375	370 (14)	427	475 (16)
270	146 (6)	315	140 (8)	376	372 (14)	428	481 (16)
271	172 (6)	316	271 (9)	377	376 (14)	429	482 (16)
272	195 (11)	317	174 (10)	378	374 (14)	430	486 (16)
273	403 (5)	318	191 (10)	379	375 (14)	431	487 (16)
274	198 (10)	319	357 (14)	380	344 (14)	432	488 (16)
275	----	320	37 (2)	381	----	433	214 (13)
276	445 (4)	321	45 (2)	382	2 (1)		
277	454 (16)	322	46 (2)	383	8 (1)		
278	461 (16)	323	51 (2)	384	9 (1)		
279	485 (16)	324	54 (2)	385	18 (1)		
		325	56 (2)	386	25 (1)		
		326	65 (3)	387	27 (1)		
		327	73 (3)	388	107 (7)		
		328	80 (3)	389	29 (1)		
		329	82 (3)	390	30 (1)		
		330	86 (3)	391	11 (1)		
		331	419 (4)	392	35 (1)		
		332	420 (4)				
		333	421 (4)				
		334	422 (4)				
		335	427 (4)				
		336	450 (4)				
		337	151 (6)				
		338	157 (6)				
		339	473 (16)				
		340	209 (13)				

() = 仮想底本巻次
 ---- = 鑄本不載篇